

## 巻頭言(紀要第5号の発刊によせて)

島根職業能力開発短期大学校は、平成5年4月に島根県江津市に開校以来、28年の歳月が経過しました、この間、県、市、地域団体等の関係機関、企業の皆様及び学校関係者の方々をはじめとした各方面の多くの方々のご支援のもと、地域のものづくり人材育成の拠点として活動してこられたことは、教職員一同、誠に喜びに堪えないところであります。

しかしながら、昨今のコロナ禍においては、感染拡大の防止の取り組みとして、「3つの密」を避け、極力、接触や体面を避ける「新しい生活様式」への切り替えを求められています。特に、IoT、AI、ビッグデータ、ロボット導入による第4次産業革命の進展がより進み、合わせてテレワークをはじめとする情報通信技術を活用した働き方へと移行が始まりました。教育訓練においてもオンラインによる訓練の導入を進めるなどデジタル化の波は私たちを取り巻く環境に大きな変革をもたらしているところです。

当校では、そうした変化に柔軟に対応しながら、専門的な知識を学び応用する技術、技術を実際の形にする技能を兼ね備えた実践技術者を育成しています。

今回発刊の紀要は、主に令和2年度の教育訓練の活動の記録を記載しており、学生を交えての講師陣の専門分野に関する研究、授業の中での実践的な課題や総合制作実習の取り組みを報告しています。

これらの活動は、講師陣自身の創造力、発想力を豊かにするだけでなく、学生にとっても、限られた授業時間の中で試行錯誤しながら完成させたもので、問題解決力や思考力などを身につける良い機会となりました。紀要第5号はこのような活動を日頃から記録にとどめ、常に現場の問題に直面し、今後どのように向かい合っていくべきのかなど、日々問題意識を持って取り組んでいる講師陣の教育方法や専門技術に係る研究成果について、地域の企業や事業主団体等の方々には十分ご理解していただくことを目的に編纂したものです。

本報告内容が一人でも多くの方々に読まれ、教育訓練の向上並びに発展のため、地域社会及び産業に貢献するため、また各自の飛躍の糧となるよう関係各位からの忌憚のないご意見・ご批評を頂ければ幸甚に存じます。

最後に当校は地域に根差し、地域に愛され、地域に貢献する大学校をめざしてたゆまぬ研鑽をしていく所存でございますので、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしく申し上げます。

2021年10月

島根職業能力開発短期大学校

校長 上田 智昭